

## 「さかなとふれあう！水路で釣り体験&釣れた魚を観察してみよう」を開催しました！

令和5年6月3日(土曜日)に、霞ヶ浦環境科学センターにおいて、家族参加型の釣り体験と釣れた魚の観察を通して、霞ヶ浦に生息する魚とふれあい、霞ヶ浦をより身近に感じることにより、霞ヶ浦浄化の意識の向上を図るため、標記イベントを行いました。

当初、美浦村舟子水神宮での開催を予定していましたが、前日からの雨天に伴い、霞ヶ浦環境科学センターの西池に場所を変えての実施となりました。

釣り体験の前には、水辺での事故を防ぐライフジャケットについての説明があり、参加児童が着用しました。釣り体験では、釣りの仕方やコツについて解説し、釣れた魚についての説明を交えながら、参加者が釣った魚やスタッフが用意した魚を観察しました。モツゴのほか、ドジョウが多く釣れたのが印象的でした。参加者の皆さんからは、『初めての釣り体験でしたが楽しかった』、『魚釣りを丁寧に教えていただきありがとうございました。』、『親も一緒に楽しむことができました』等の意見がありました。





釣り体験の傍ら、総合受付案内による展示室ツアーも実施、霞ヶ浦について学びました。  
展示室ツアーについても、『館内の案内がわかりやすく、とても楽しかったです』等の感想をいただきました。



最後には、NPO法人水辺基盤協会吉田氏から霞ヶ浦に棲む外来魚「アメリカナズ」の説明がありました。  
試食品としてアメリカナズバーガーと白魚の佃煮を配布したほか、霞ヶ浦北浦の水生生物・植物の下敷きもプレゼントされました。

アメリカナズバーガーについては、『アメリカナズと聞いて、最初はためらいましたが、とても美味しかったです』等の意見を頂きました。



今後のイベント等の開催に当たっては、皆さんからの声を参考にさせていただきます。  
御参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

